

令和7年度版

受講料
無料

親

ひがしひろしま

の力をまなびあう学習プログラム 活用講座

様々な場面で
活用いただけます



子育てサークルの勉強会で



保育所や幼稚園での
保護者懇談会・入園説明会で



小中学校・高等学校での
PTA研修会、保護者会で



小中学校・高等学校での
道徳、総合的な学習の時間で
(児童・生徒向けプログラム)



本講座は、これから親になる人、子育て・孫育て中の人、子育てを
応援する人、将来親になる世代など、全ての人を対象としています。

あらゆる人がそれぞれの立場から「子育て力」（＝親として、ある
いは地域の一員として子どもたちを育成していく力）を身につけるこ
とを目的とした家庭教育支援講座です。

【お問い合わせ】 東広島市教育委員会 生涯学習課
東広島市西条栄町8番29号

☎:(082)420-0979 Fax:(082)422-1610



市ホームページはこちら

東広島市教育委員会



ひがしひろしま

親の力をまなびあう学習プログラム 活用講座

はじめに

TV、育児書、インターネット・・・

子育てについての情報がいつでも簡単に手に入る現代ですが、すべての情報が自分の子どもや家庭の状況に合っているとは限りません。

本講座では、参加者同士の対話の中で、自分の子育てや子育てに対する意識を振り返るとともに、参加者が適切な情報を選択し、状況に合わせて応用する力を身につけることを目的としています。

※広島県教育委員会が開発した、
「『親の力』をまなびあう学習プログラム(親プロ)」
を活用しています。

親プロについて 詳しくはこちらから →
(広島県教育委員会HPへジャンプします)



講座について

- ・本講座では、講師として広島県教育委員会から認定を受けたファシリテーターを派遣します。

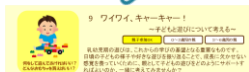
- ・専門家の話を聞く“講演型”の講座ではなく、ファシリテーターの進行により参加者同士がテーマに沿って話し合う“参加型”の講座です。

- ・参加者同士の交流や、子育てに役立つ情報を通して、それぞれの立場や家庭の状況に合った子育ての方法を模索する“カフェ形式”の講座となります。



「親プロ」実施までの流れ

お申込みは、申込書の提出または電子申請にて受付いたします。※申込期間は、講座開催希望日の6カ月前～3週間前です。



パンフレットから
テーマをえらぶ

①テーマ選択

講座にはたくさんのテーマがあります。各テーマの詳細についてはパンフレットの学習メニューを参照してください。

対象者や実施目的に合わせてテーマを選択してください。



申込書DL・電子申請
(市ホームページ)

②申込書のダウンロード または 電子申請

市ホームページへアクセスし、申込書をダウンロードするか、電子申請を行ってください。

※申込書は生涯学習課窓口でも受け取りできます。また、郵送も可能です。生涯学習課(082-420-0979)へお問い合わせください。



お申込み
(電子申請・郵送・
FAX・窓口)

③お申込み (※1)

(i) 申請書を提出する場合

申請書に必要事項を記入の上、生涯学習課へ郵送・ファックス・窓口にてご提出ください。

(ii) 電子申請の場合

画面の案内に従って必要事項を入力してください。



生涯学習課よりご案内
打合せ など

④ご案内・打合せ

お申込み後、生涯学習課より電話・郵送・Eメール等でご案内いたします。講師（ファシリテーター）の希望により、打合せや会場見学(※2)の日程調整をさせていただく場合がございます。

※1 お申込みの詳細や注意事項については、パンフレット最終ページ「講座のお申込みについて」も併せてご確認ください。

※2 会場の手配や受講者への周知は、お申込者でお願い致します。

①

何をして遊んであげればいい？
どんなおもちゃを買えばいい？

② 9 ③
ワイワイ、キヤーキヤー！
 ～子どもと遊びについて考える～

④

親子参加OK

0～2歳児の親

3～6歳児の親

⑤

⑥

乳幼児期の遊びは、これからの学びの基盤となる重要なものです。
 日頃の子どもの様子や好きな遊びを振り返ることで、成長に欠かせない
 感覚を養っていくために、親として子どもの遊びをどのようにサポートす
 ればよいのか、一緒に考えてみませんか？

- ① お悩みシーン … プログラムで解決を目指す場面の一例です。プログラム選択の際の参考にしてください。
- ② プログラムNo. … プログラムの番号です。お申し込み時にご記入ください。
- ③ プログラム名 … プログラムのタイトルです。お申し込み時にご記入ください。
- ④ 対象者アイコン(黄) … プログラムによっては、親子参加可能、教員と保護者対象など特殊な条件があるものがあります。
- ⑤ 対象者アイコン(白) … プログラムの対象者を示しています。（※アイコンの対象でない方でも講師との相談次第で受講可能となる場合があります。）
- ⑥ プログラム概要 … プログラムのおおまかな内容を説明しています。

学習メニュー もくじ

1. はじめての子育て 編	… 4
2. 子育てと生活 編	… 5
3. 子どものしつけ 編	… 6
4. 子どもとのコミュニケーション 編	… 7
5. 子育てへの理解 編	… 9
6. いつか親になる世代 編	… 10
7. 親子コミュニケーション応援 編	… 12
8. ミニ 編	… 16

1. はじめての子育て 編

はじめての子育ては不安がいっぱい。

TVや書籍、インターネットなど、子育て情報はいくらでも手に入りますが、あらゆる情報からそれぞれの家庭に合ったものを選択することが大切です。現在の環境を振り返り、自分に合った子育ての方法を探してみましょう。



嬉しい反面、
ちょっと不安かも…

4 親になるって？ ～命を授かる責任と喜び～

夫婦参加 歓迎！

まもなく親になる人(妊娠初期)

自分のお腹に新しい命が宿っていると知ったとき、あるいはパートナーの妊娠を知ったとき、あなたはどんな気持ちになりましたか。喜びやうれしさだけでなく、驚き、戸惑い、不安、責任感など、複雑な感情を抱いた方もいるかもしれません。赤ちゃんとの生活にはどんなことが待っているか、想像してみましょう。



妊娠期を、パートナーと
どう協力していけばいい？

5 妊娠期のカラダとココロ

～パートナーの理解と協力～

夫婦参加 歓迎！

まもなく親になる人

妊娠を期に、日に日に母親としての自覚が芽生える女性に比べ、体の変化の無い男性は、自分が親であることをなかなか実感できないかもしれません。一方、女性は体のコンディションが思うようにコントロールできず、精神的にも不安定になりやすいものです。妊娠期をパートナーと支え合い、楽しく過ごすにはどうすればよいか考えてみましょう。



お七夜、お宮参り、予防接種…
赤ちゃんが生まれたら、
何をしないといけないの？

6 出産は初めの一步！

～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～

夫婦参加 歓迎！

まもなく親になる人

妊娠中は、妊娠をスタート、出産をゴールだと思いがちですが、実際はそうではありません。無事出産を終えたあなたは、「赤ちゃんのいる生活」という新しいスタート地点に立つことになります。これから始まる長い子育て生活のはじめの一步をスムーズに踏み出すためにも、今のうちに赤ちゃんとの生活をイメージしてみましょう。

8 お付き合いって、難しい？

～「私と周り」の人間関係を考える～

まもなく親になる人

0～2歳児の親

3～6歳児の親

子どもが生まれると、近所の子どもやその親との新しい交友関係ができたり、家族・親戚や近所の人たちからの見方・接し方が変わったりするなど、これまでとは違った人間関係づくりや対応を求められることがあります。人間関係を良好にするためにどのような心がけが必要か、考えてみましょう。



ママ友、親戚、近所の人…
どう関わって行けばいいの？



12 もうすぐ小学生！

～これまでの子育てを振り返る～

5～6歳児の親

出産から乳幼児期まで嵐のような6年間が過ぎ、わが子もいよいよ小学生！「はじめて」だらけの新生活がスタートします。卒園・進入学という節目のときに、これまでの子育てを振り返り、新たな生活に向けて心の準備をしてみましょう。



12-2 もうすぐ小学生！

～期待と不安の中味とは？～

5～6歳児の親

小学校入学前には、学用品などの「物」の準備だけでなく、生活習慣を身につけたり、新しい生活への心構えを持つなど、「心」の準備も必要になります。子どもの入学式を控えて、親としてどのような期待や不安がありますか？ 不安を解消するために、入学までにどのような準備が必要か、一緒に考えてみましょう。

2. 子育てと生活 編

育児をする上で、家事や仕事との両立は誰もがぶつかる問題です。「子ども中心の生活で自分の楽しみが無い」、「忙しくて子どもに構ってあげられない」・・・ 親としてそのような悩みを抱えている方へ、自分の子育て環境を振り返っていただき、気持ちと生活にゆとりをつくることを目的としたプログラムです。



7 私の時間、子どもの時間

～つくってますか？心のゆとり～

0～2歳児の親

3～6歳児の親

子育てをしていると、本当に「時間が足りない！」と感じますよね。掃除、洗濯、食事の準備…… しなくてはならないことが山のようにあるのに、子どもは思い通りにほさせてくれません。自分の時間を大切にするために、どのような工夫ができるかを考えてみましょう。



27 向き合ってみて・・・

～仕事と子育ての調和のために～

仕事を始めようと考えている親

仕事をしている親

社内研修にもおすすめ

「仕事も子育ても充実させたい」と思っている、現実には、日々忙しくて子どもとじっくり向き合う時間が無い！と悩んではいませんか？ 仕事と子育て、家庭生活の調和を図り、充実したライフスタイルをつくっていくために、どのような工夫ができるでしょうか。一緒に考えてみましょう。

3. 子どものしつけ 編

子どもがわがママを言う、親の言うことを聞かない…

つい一方的に怒ってしまうときもあるかもしれませんが、少し立ち止まって接し方を変えることによって、子どもがぐんと成長するきっかけが生まれるかもしれません。

日常の「よくある」場面を振り返りながら、日頃のしつけを振り返ってみましょう。



外出先で、
子どもが言うことをきかない

10 買って買って！！

3～6歳児の親

10-2 こんなとき、どうする？

公共の場や外出先で子どもが困ったことをしたとき、どのように子どもの気持ちを受け止め、対応すればよいでしょうか。ファシリテーターや同じ悩みをもつ参加者の方と共に考えてみましょう。

※10(買い物時)と10-2(公共の場)でエピソードが異なります。



はじめてのお手伝い！
どこまでさせてあげればいい？

11 ○○ちゃんがするっ！！

3～6歳児の親

幼児期は自我の芽生えの時期。自己主張も激しくなり、なんでも自分でしたがるようになります。「危ない！」「またやっちゃったの！」「いいかげんにしなさい！」と、つい怒鳴ってしまうことはありませんか？子どもの思いに寄り添い、自主性を伸ばすためには、親としてどのように支援すればよいかを一緒に考えてみましょう。



子どもをつい、
兄弟姉妹や周りの子と
比較してしまう

14 くらべないで！～同じ子どもなんてひとりもない

3～6歳児の親

小学1～3年生の親

小学4～6年生の親

子どもを兄弟姉妹や周りの子と比べてしまうことはありませんか？いくつかの事例をもとに、日常の「くらべる」ことについて振り返り、子どもの自信や自尊心をどのように育てていけば良いかを考えてみましょう。



気がついたら、
子どもに怒ってばかりいる

15 みなおして！～多様な視点から子どもをみる

3～6歳児の親

小学1～3年生の親

小学4～6年生の親

気が付いたら、子どもの欠点ばかりが気になって怒ってばかりいませんか？子どもの気がかりな性格や行動も、別の方向から見直すことによって、長所として再認識できるかもしれません。子どもの成長を喜び、自ら伸びようとしている芽をみつけてしっかり伸ばしてあげましょう。



子どもの長所をみつけて
伸ばしていくためには？

12[東広島版] わが子の良いところ、再発見！

保護者と教員

小学1～3年生の親

小学4～6年生の親

ふだん子どもの欠点は目につきがちなのに比べ、良いところはあまり意識していない…ということはありますか？子どもの良いところを伸ばしていくために、学校でどのような工夫が行われているのか、また、家庭で子どもたちとどのように関わって行けばよいのかを話し合ってみましょう。

※保護者と教員が交流を通して共に子育てを考える懇談会向けの内容です。



子どもにスマートフォンを
持たせていいのかわからない

NEW

26[東広島版] スマートフォン！ウチではどうする？

26-2スマホ時代の子供たち～身につけたいスマホリテラシー

小学1～3年生の親

小学4～6年生の親

中学・高校生の親

子どもたちにも普及が進んでいるスマートフォンは、便利な道具である半面、使い方を間違えると犯罪やいじめなどのトラブルに巻き込まれる危険があったり、依存により生活リズムの乱れや家庭でのコミュニケーション不足をもたらしたりします。それぞれの家庭に合ったスマートフォンとの付き合い方をもう一度考えてみませんか？

4. 子どもとのコミュニケーション 編

「子どもと何をして遊ぼうか」「学校で何かあったのかな」「最近子どもが話をしてくれなくなった」…子どもの成長とともに、親子間の適切な距離も日々少しずつ変化してゆきます。

子どもの成長段階に応じて、子どもたちとどのようにコミュニケーションを図っていけばよいのか、そのヒントを探ることができるプログラムです。



絵本の読み聞かせて
どうすればいいの？

28 おひざにだっこでおはなししましょう～絵本をひらいてみませんか？～

親子参加 OK

0～2歳児の親

3～6歳児の親

(※読み聞かせ初心者向け)たくさんの絵本の中から、自分の子どもに合った読み聞かせの仕方や、自分の子どもの好きな絵本を知りましょう。

29 おひざにだっこでおはなししましょう ～読み聞かせ、どうしてる？～

0～2歳児の親

3～6歳児の親

(※ふだん読み聞かせをしている人向け)日頃の読み聞かせ時の不安解消やもっと楽しく読み聞かせをするための交流を行います。



何をして遊んであげればいい？
どんなおもちゃを買えばいい？

9 ワイワイ、キャーキャー！

～子どもと遊びについて考える～

親子参加 OK

0～2歳児の親

3～6歳児の親

乳幼児期の遊びは、これからの学びの基盤となる重要なものです。日頃の子どもの様子や好きな遊びを振り返ることで、成長に欠かせない感覚を養っていくために、親として子どもの遊びをどのようにサポートすればよいのか、一緒に考えてみませんか？



13 親子でやってみよう！！

～楽しい小学校生活を送るために～

小学1～3年生の親

子どもが健やかに成長し、楽しく充実した学校生活を過ごすためには、子どもの生活基盤である家庭での関わりがとても大切です。家庭でどのような習慣作りが大切なのか、親子で一緒に何ができるのかを考えてみましょう。



17 どうする？ どういう？

～子どもの人間関係への関わり～

小学1～3年生の親

小学4～6年生の親

中学・高校生の親

子どもは成長と共に親の知らないところでいろいろな問題をかかえるようになります。「友達とけんかをして帰ってきた」「なんだか元気がない」「最近口数が少ない」など、子どもの様子に変化があったとき、親としてどのように関わればよいかを学ぶプログラムです。



16 体と心の変化

～子どもの思い、親の戸惑い～

親子参加 OK

小学4～6年生の親

小学校も高学年になると、友達との行動範囲も広がり、だんだん親と話してくれなくなってきました。「子どもが何を考えているのかわからない」と悩んだことはありませんか？子どもを取り巻く様々な問題や、親子のコミュニケーションについて、一緒に考えてみましょう。



18 さあ、どっち？ ～信じる、見守る、待つ、聞く

小学4～6年生の親

中学・高校生の親

子どものことは何でも知っていると思っていても、成長するにつれ、だんだんと知らないことが増えてきます。不安だからといろいろ訊きたくなるけれど、子どもは話してくれない・・・多感な時期の子どもとどう関わって行けばいいのか、考えてみましょう。



18 [東広島版] 親子って、これでいいの？

親と子ども

小学4～6年生の親

中学・高校生の親

わが子の成長につれ、親子の距離が少しずつ遠くなっていくように感じることはありませんか？家庭での会話は減り、親はわが子のことで不安になる一方で、子どもたちは自立の道を歩み始めています。良好な親子関係を築くために、お互いが向き合うことの大切さを学びましょう。

※プログラム18を改変し、親グループと子グループに分かれて事例についてお互いの立場で考え、交流する内容となっています。



あなたの若いころは
どうでしたか？

19 思い出してみても… ～私にもあった青春時代～

中学・高校生の親

かわいいわが子も大きくなり、いまでは背丈も親を追い越しそう…体だけでなく、心も大きく変化しているようです。親としては不安になったり、腹が立ったり、戸惑うこともしばしばです。でも…私もあの頃はそうだったかも。「あの頃」を思い出しながら、思春期真っ只中の子どもとの関わり方を考えてみましょう。



子どもの気持ち、
きいてあげていますか？

20 キャッチボールは得意ですか？

～気持ちを伝える、胸の真ん中で受け止める～

中学・高校生の親

子どもとのコミュニケーションの中で、親の考えや思いを一方向的に伝えているときはありませんか？進路選択を巡る親子のロールプレイを通して、子どもの気持ちを尊重し、課題解決に向けて一緒に考えていくことの大切さを、学びます。



子離れ、
ちゃんとできていますか？

21 ほど良い距離感って？

～子どもの自立と親の自立～

中学生・高校生の親

中学生・高校生にもなると、自分の意思で物事を決定する機会も増え、子どもたちは日々少しずつ自立への道を歩み始めています。子どもたちの自立を適切に支援するためには、親はどのように関わっていけばよいのかを考えてみましょう。

5. 子育てへの理解 編

子育てが母親だけの仕事ではないということは、今では常識となっていますよね。父親として、祖父母として、あるいは地域の大人として子育てに参加している方に、同じ立場の方同士の交流や、現代の子育て環境を知るきっかけとして活用してほしいプログラムです。



パパたちは子育てにどう関わっている？

25 お父さんの子育てトーク！

～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～

子育て中の父親

子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性「イクメン」が今、注目されています。自信をもってイクメン宣言できるあなたも、そうでないあなたも、子どもの健やかな成長が、親にとって最大の喜びであることに変わりはありません。そのために何が出来るのか、色々な「お父さんの思い」はあると思いますが、少し肩の力を抜いて、本音を語ってみませんか。



22 よりそってみて・・・

～子育て環境の変化を知る～

孫育てをしている祖父母世代

若い人たちが子育てをしている様子や、自分の子どもが孫を育てている様子を見たときに、「ああ、私のときもそうだったな」とか「いまだきの子育てって、どうなっているのだろう」などと感じたことはありませんか？現代の親子を取巻く環境をみつめながら、自分がどのように子育て世代と関わっていけば良いのかを一緒に考えてみましょう。

現代の子育て、
昔の子育てと何か違うの？？



23 たちどまってみて・・・

～こんな場面で、あなたなら？～

孫育てをしている祖父母世代

スーパーで駄々をこねている幼い子供を見かけたら・・・？
もが経験し得るエピソードをもとに、地域の一員として、子育て中の親子をどのように支援していくことができるのかを考えるプログラムです。

息子／娘夫婦の子育て・・・
自分にできることは？？



24 かかわってみて・・・ ～地域の大人ができること～

すべての子育て支援者

生活体験やコミュニケーション不足、人間関係の希薄化などが、現代社会全体の課題となっています。これらの解決のためには、学校や個々の家庭の教育力に任せるだけでなく、「地域の大人」の力が必要です。地域の人々との交流は、子どもたちにとって、豊かで多様な人間関係を体験できる重要な機会となります。地域の大人として、どのようなことができるか考えてみませんか。

あなたの一歩が
地域の子育てを支えます！

6. いつか親になる世代 編

※中学生・高校生向けのテーマです。

「将来親になったとき」のことを想像するのは難しいことですが、そう遠くない未来のことかもしれません。自分がどのように育てられてきたのかを振り返ったり、地域の子育て世代に対して今自分ができることは何かを考えたりする学習を通して、いつか自分が親になったときに自信をもって子育てするための心の準備をしましょう。



1 おぎゃーってスゴイ！

～生まれてきた自分、やがて生まれてくる命～

中学生・高校生～

中学生・高校生など青少年の時期は、自分の親でさえも口うるさく感じることがあります。「親になるって、どんな気持ちなのだろう」「親になったら、どんな生活が待っているのだろう」・・・ 親になった自分の姿を想像してみましょう。

親になるって、どういうこと？



親が口うるさいのはどうして？

2 親知らず、子知らず

～親子関係を振り返る～

中学・高校生～

「こんな遅くまで、何してたの！」「勉強しなさい！」「…親を口うるさいなあと感じてしまうときはありませんか？親はどんな気持ちで言っているのか、親の役割とは何か、身近な例をもとに考えてみましょう。



あなたがこれまで
どんな想いで育てられてきたのか、
知っていますか？

3 おや！おや？ ～自分の歩みと親の関わり～

中学・高校生～

生まれてからこれまで、何歳の頃に何があったのかを「自分史」にまとめてみましょう。そのとき、自分の親は、どんな気持ちだったでしょうか。「自分史」をつくる中で、親との関係を振り返り、将来親になった自分を想像してみてください。



地域の一員として、
今日からあなたができること

30 地域ぐるみで子育て！

～親の立場で考えてみよう～

中学・高校生～

これからの子育てには、親だけでなく、社会全体で子どもの成長を支えていくことが求められます。自分たちの地域の「子育てマップ」を作成し、将来自分が親になったときのことを想像してみましょう。そして、地域社会の一員として、子育て世代とどう関わり、ともに子どもたちを育てていくことができるのかを考えてみましょう。



子育てってとっても大変！？
自分は何かできるのかな？

31 あなたなら、どうする、どう考える？

～親として、地域の一員として～

中学・高校生～

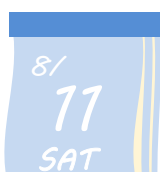
子どもの健やかな成長のためには、親はもちろん、周りの人々があたたかな気持ちを持って子どもに関わっていくことが大切です。外出時、子どもたちの周りで起きたトラブルについてのロールプレイを通じて、親の立場や現在の自分の立場から、子どもたちとの関わり方について考えてみましょう。

「親プロ」活用講座の特長

講座の内容・時間などは調整可能です。
お気軽にお申込みください！



実施時間
45分～120分



土・日・祝日実施可
※応相談



受講料等無料



子どもの成長段階や
立場に応じたプログラム

7. 親子コミュニケーション応援編

乳幼児(2～6歳)の親対象

何かと忙しい乳幼児期の子育て。「言うことを聞いてくれないなあ」、「困ったなあ」と思うことも日常茶飯事です。子どもとの接し方のちょっとしたコツやポイントをつかんで、子どもに伝わるコミュニケーションの方法を模索するプログラムです。

コ+1

「ちゃんとしてね!」で伝わってる?



子どもは外出中や来客中でもお構いなしに走り回ったり、騒いだり。「うるさい!」「走らないで!」「ちゃんとしなさい!」と注意はするものの、全くきいてくれないし、もう放っておこう…。

子どもが言うことをきいてくれなくて大変な時期ですが、伝え方を工夫して習慣づけることで、子どもたちの反応も変わってくるかもしれません。子どもたちに想いを伝える方法を、一緒に考えてみませんか?

伝え方を変えれば
子どもの行動も変わるかも・・・



コ+2 ほめて“楽”に子育て



子どもをじっと
見つめて...



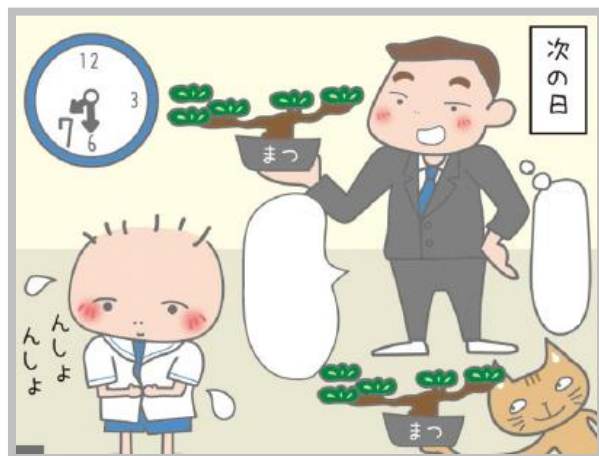
いつもの会話を
ちょっと工夫してみよう

コ+3

待つ門には福がくる!

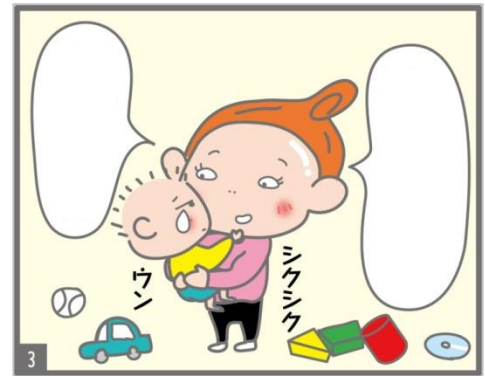


子どものやる気を
引き出して伸ばすには...



コ=4

いきなりなっていませんか？



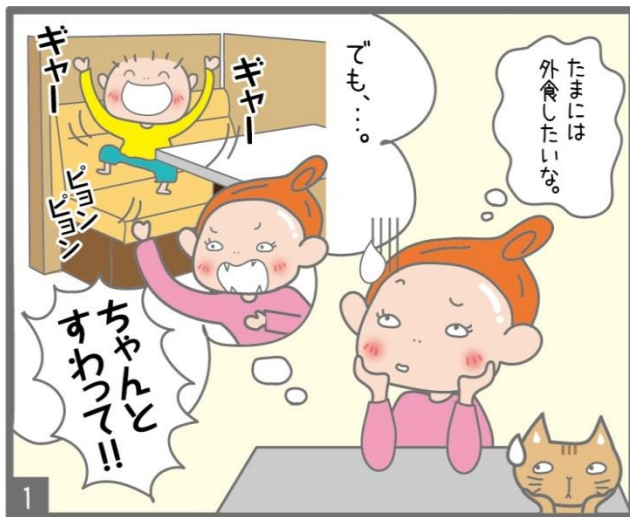
日々の生活の中で、ついどなってしまいうこともありますがね。そんな時、まずは深呼吸して子どもの気持ちを受け止めることができたらいいいですね。

親の気持ちが子どもにより伝わるよう、子どもの気持ちに寄り添ったり、話し方を工夫してみたりしてみましょう。言い過ぎてしまった時は素直に謝ることも大切です。

子どもの気持ちを
まず受け止めてみよう

コ=5

備えあれば怒りなし!?



お店で騒がないように
どうやって伝えよう・・・

お出かけすると、いつもと違う場所で騒いだり、ふざけてみたりしますよね。だからってずっと家にいると親のストレスも溜まってしまいうばかりです。

「静かにしてね。」と言うばかりでは、なかなか約束を守ってくれない子どもたち。親子で楽しくお出かけできるよう、子どもが自分からやってみようと思える「お約束」の方法を考えてみましょう。



コ÷6

指示より支持してみよう



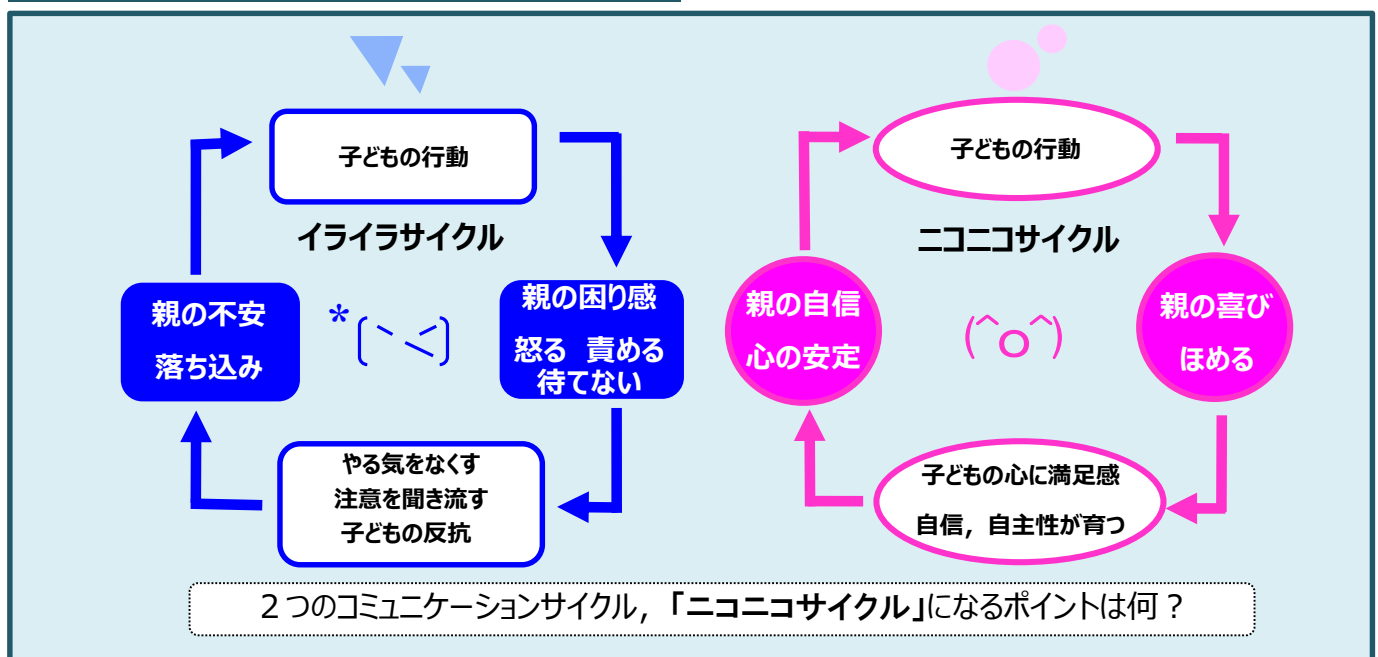
子どもが自分で考えたり試したりしている時、先回りしてつい口を出してしまうことがありますね。子どもが自分で「やりきった」と思えるように、見守ることが大切かもしれません。少しでもうまくいった時は、頭をなでる等しっかり褒めてあげましょう。子どもが自分で考え、行動する意欲につながるような関わり方ができるといいですね。



子どもの考えや行動を見守りましょう

できたことをしっかり褒めましょう

親子コミュニケーション応援編 参考資料



8. ミニ編

乳幼児(0～2歳)の親対象

より多くの“場”や“機会”に活用いただけるよう「短時間」で楽しく学べる新しいプログラムです。乳幼児健診の待合時など「ちょっとした時間」にぜひご活用ください。おひざにだっこで、親子一緒に参加できます。

ミニ-1 みんなどうしてる？

～ 親編・親の生活編・子どもの生活編 ～

サイコロやカードを使って子育てのことを気軽に話し合ってみましょう。自分の言葉で話すことで、自分の思っていることに改めて気がつくきっかけになるかもしれません。



☐	自分の子供をほめてみましょう。
☐	子供と一緒にやって楽しかったことは？
☐	自分の時間の見つけ方って？
☐	子育ての中でほっこりする(うれしかった)瞬間は？
☐	子育てで大切にしていることは何ですか？
☐	子育ての悩みを誰に相談してる？

サイコロ製作協力：安田女子短期大学保育科

ミニ-2 デジタル時代の子育て

～スマホの使い方 みんなどうしてる？～



スマートフォン等のデジタル機器の見せ方や遊ばせ方について話し合い、スマホ時代の子育てについて考えます。生活に合った使い方のヒントや新しい発見があるかも。



参加者のみなさんの声

周りの子の生活リズムややっていることがわかって良かった。

子育てしながら、いままで気付いていなかったこと（子どもをほめるポイント）を気付かせてもらいました。

（保育参観後の保護者勉強会にて）



今まで両親や地域のひとに支えられる立場だったが、これからは支える側として自分にできることをしていきたい。

（高校生を対象とした授業にて）

「絵本の読み聞かせは食事と同じ」という考えはとてもわかりやすく納得！！でした。絵本だけでなく手遊びを取り入れるという手法は、すぐに実行できそうです。

（保育参観後の読み聞かせ講座にて）



講座のお申し込みについて

【対象】 東広島市内に在住または通勤・通学している皆さん等で構成している自治会・サークル等の団体やグループ（※政治・宗教・営利を目的とするものは除きます）

【会場】 この講座は市民の皆さんのもとへ講師を派遣するものですので、会場の手配、受講者への周知などは、申込者（主催者）をお願い致します。

【開催時間】 45分～120分（応相談：ご希望の時間で対応可能です）

【受講料】 無料

【お申し込み方法】 開催希望日の6ヶ月前から3週間前までに、生涯学習課宛に申込書をFAX・郵送・窓口にて提出、または東広島市HPからの電子申請にてお申込みください。

お申込書のダウンロード・電子申請による

お申込みはこちらから→

（東広島市HPへジャンプします）

【お問い合わせ】 東広島市教育委員会 生涯学習課
東広島市西条栄町8番29号
Tel: (082) 420-0979 Fax: (082) 422-1610
E-mail: hgh200979@city.higashihiroshima.lg.jp

